

2018年4月24日

報道関係各位

GMO グローバルサイン株式会社

エンベッド クラウド

「マネージド PKI for IoT」が「Arm Mbed Cloud」と連携 ～IoT デバイスに電子証明書を高速かつ自動で配布可能に～

GMO インターネットグループの GMO クラウド株式会社の連結会社で、電子認証サービスを展開する GMO グローバルサイン株式会社（代表取締役社長：中條 一郎 以下、GMO グローバルサイン社）は、IoT デバイス向けのクライアント証明書大量発行サービス「マネージド PKI for IoT」において、世界最大級の半導体設計会社 Arm Ltd（本社：イギリス 日本法人：神奈川県横浜市 以下、Arm 社）が提供する IoT デバイス管理クラウド「Arm® Mbed™ Cloud（以下、Mbed Cloud）」とのシステム連携を、2018年4月23日（月）より開始いたしました。

これにより、「Mbed Cloud」を利用する IoT デバイスの製造業者は、公的に信頼されたパブリック認証局^(※1)である GMO グローバルサイン社が発行する電子証明書を、高速かつ自動で IoT デバイスへ配布することが可能になります。

(※1) インターネット事業者が国際的な電子商取引保証規準に基づいた電子商取引を行っているかを審査する「WebTrust for CA」により、厳正な監査基準に基づく審査をクリアした電子証明書発行事業者のこと。

【連携の背景と概要】

GMO グローバルサイン社は、2017年4月より、IoT デバイス向けに大量かつ高速に電子証明書を配布できるサービス「マネージド PKI for IoT」を提供しております。「マネージド PKI for IoT」は、業界最速となる秒速 3,000 枚もの証明書の大量発行に対応しており、証明書プロファイルもデバイスや用途に合わせて設定できるのが特徴です。「マネージド PKI for IoT」は API 形式で提供しているため、技術パートナーや IoT アプリケーション開発者が提供するシステムと迅速かつ簡単に連携することが可能です。

こうした中 GMO グローバルサイン社では、IoT 市場における次世代のセキュリティニーズに対応するべく、「マネージド PKI for IoT」の提供に先立って、2017年3月に Arm 社と「Mbed IoT Device Platform パートナー」契約を締結いたしました。「Mbed IoT Device Platform パートナー」とは、Arm 社のサービスを基盤に、互いの技術を活用して新たな IoT デバイスの開発やビジネス展開を行うパートナープログラムです。

これまで両社は、IoT デバイスに搭載される IC チップ（SoC：System on a Chip の略）^(※2)の製造段階から電子証明書を自動配布できるサービスの実現に向けて、共同で開発・検証に取り組んでまいりました。

そしてこの度、そのマイルストーンとして、IoT デバイス製造業者がより簡単・高速に電子証明書をデバイスに配布できるよう、GMO グローバルサインの「マネージド PKI for IoT」と、Arm 社が提供する IoT デバイス管理クラウド「Mbed Cloud」とのシステム連携を開始いたしました。

これにより、「Mbed Cloud」を利用する IoT デバイス製造業者は、「Mbed OS」に対応した各デバイスへ、GMO グローバルサインが発行するクライアント証明書を高速かつ自動で配布することが可能になります。

今後も両社は、SoC の製造段階から電子証明書を自動配布するサービスの実現に向けて取り組んでまいります。

(※2) 1 個の IC チップ上に、システムの動作に必要な複数の機能を実装する設計手法、およびその手法で作られたチップのこと。

【各社からのエンドースメント】

■ Arm 社 IoT クラウドサービス担当ゼネラルマネージャー Hima Mukkamala 様

『IoTにおけるセキュリティは、業界全体の課題であり、ライフサイクル全体にわたりデバイスを保護するための共同的なアプローチを必要としています。また、セキュリティ面の強化は IoT を導入する組織が直面する実装および管理面での摩擦の低減にもつながります。この度の GMO グローバルサイン社の「マネージド PKI for IoT」と「Mbed Cloud」の連携により、組織は IoT デバイスを安全に認証するために既存のアイデンティティ・インフラストラクチャを活用できることに加え、複雑性を軽減し、柔軟性を高めることができます。』

■ 日本法人：アーム株式会社 代表取締役社長 内海 弦様

『このたび、ルート認証局であり、世界中で認証サービスを提供している GMO グローバルサイン社と新たな一歩を踏み出すことができたことを嬉しく思います。ありとあらゆるものがインターネットにつながる時代において、適切なデバイス認証が行われセキュリティが担保されることで、人々がより安心・安全に IoT 機器、ならびにそれを利用したサービスの恩恵を受けることができるようになることを確信しております。』

■ GMO グローバルサイン社 取締役 唐澤 稔

『この度の連携により、2017年4月の Arm 社とのパートナー契約以来1年間にわたって、IoTに関連するサービス提供を主導してきた成果をマイルストーンとして表明することができました。Arm 社は世界レベルのセキュリティ構築・導入、および社内エコシステムとの連携を通じて、半導体市場を牽引するリーディングカンパニーです。そのような企業と連携した IoT ソリューションを提供開始できることを非常に嬉しく思っております。今後も GMO グローバルサイン社は、製品企画や検証実験の段階から、様々なニーズに即したセキュリティ強化を実現するためのソリューションを提供してまいります。』

【Arm について】（URL: <https://www.arm.com/>）

Arm テクノロジーは、コンピューティングとコネクティビティの革命の中心として、人々の暮らしや企業経営のあり方に変革を及ぼしています。そのエネルギー効率に優れた高度なプロセッサ設計は、1,000 億個ものシリコンチップでインテリジェンスを実現しており、各種センサーからスマートフォン、スーパーコンピュータまで、さまざまな製品をセキュアにサポートしています。Arm 社は現在、世界最大のビジネスブランドや消費者ブランドをはじめ、1,000 社以上のテクノロジーパートナーと協力することで、チップ、ネットワーク、クラウドの内部で行われる演算のあらゆる分野で Arm イノベーションを牽引しています。

■ 「Arm Mbed IoT Platform」について（URL: <https://www.mbed.com/>）

「Arm Mbed IoT Platform」は、IoT デバイスおよびアプリケーションの開発において、デバイスをセキュアに管理し、プロビジョニングや快適なコネクティビティを実現するために不可欠な要素を包含する IoT プラットフォームです。具体的には、IoT デバイス組み込み用 OS「Mbed OS」をはじめ、ネットワーク経由で IoT デバイスを管理するクラウドサービス「Mbed Cloud」、各種ツールおよび開発エコシステムまでを包括的に提供します。IoT を利活用する企業は、「Arm Mbed IoT Platform」を導入することで、アプリケーション開発の所要期間を劇的に短縮できるほか、パブリッククラウド/プライベートクラウド、オンプレミス/ハイブリッドといった構成を問わず、クラウド環境に IoT デバイスをセキュアに接続し、管理・アップデートすることが可能です。

【「マネージド PKI for IoT」について】(URL: <https://jp.globalsign.com/internet-of-things/>)

「マネージド PKI for IoT」は、データの認証・機密性・完全性などを保証できる PKI 技術^(※3)の活用により、デバイス所有者の身元(個人・組織)を証明するクライアント証明書を、IoT デバイス向けに大量かつ高速で発行できるサービスです。

「マネージド PKI for IoT」で発行するクライアント証明書は、デバイスや用途に合わせて多様な証明書プロファイルを設定できるうえ、秒速 3,000 枚という証明書の大量発行にも対応しています。これにより、数百万の製品(シリアルナンバー)ごとにアイデンティティ(ID)管理が必要な IoT 機器製造業者のニーズにも対応することができます。

(※3) PKI とは Public Key Infrastructure の略で、公開鍵と秘密鍵のキーペアからなる、公開鍵暗号方式という技術のこと。暗号化と復号でペアとなる 2 つの異なる鍵を使用し、片方の鍵を使って暗号化したものは、それとペアになっているもう一方の鍵を使用しなければ復号できない。

【「GlobalSign」とは】(URL: <https://jp.globalsign.com/>)

世に電子認証サービスが登場し始めた初期段階の 1996 年にベルギーでサービスの提供を開始し、ヨーロッパで初めて WebTrust を取得した認証局です。ベルギー政府関連機関への数多くの実績を持ち、eID^(※4)(BELPIC)をはじめとするベルギー電子政府プロジェクトの最上位認証局である、ベルギー政府認証局への認証を行っています。2006 年に GMO インターネットグループにジョインし、政府レベルのセキュリティを、日本をはじめワールドワイドに販売展開しており、SSL サーバ証明書をはじめとした 2,500 万枚の電子証明書発行実績と、政府関連機関や大手企業へ多数の納入実績を持ちます。

また、『CABF(CA/Browser Forum)』、『Anti-Phishing Working Group』に参加し、電子証明書市場のリーディングカンパニーとして積極的な活動を行っています。

(※4) eID とは、ベルギーの電子政府プロジェクトの一環として始まった国民 ID カードプロジェクト。12 歳以上のベルギー全国民に対して電子証明書入りの ID カードが配布される。

【GMO グローバルサイン社の IoT への取り組み】

GMO グローバルサイン社では、2016 年より、セキュアな IoT 実現に向けた取り組みを積極的に行っております。詳しくは別紙をご参照ください。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO クラウド株式会社 社長室 広報担当 遠藤・松下
TEL : 03-6415-6100 FAX : 03-6415-6101
E-mail : pr@gmcloud.com

●GMO インターネット株式会社グループ広報・IR 部 石井・島田
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO グローバルサイン株式会社 マーケティング部 伊藤
TEL : 03-6370-6500 FAX : 03-6370-6505
E-mail : support-jp@globalsign.com

【GMO グローバルサイン株式会社】(URL: <https://jp.globalsign.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 中條 一郎
事 業 内 容	■情報セキュリティ及び電子認証業務事業
資 本 金	3 億 5,664 万円
法 人 番 号	1011001040181

【GMOクラウド株式会社】 (URL : <https://www.gmocloud.com/>)

会 社 名	GMOクラウド株式会社 (東証第一部 証券コード : 3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■クラウド・ホスティング事業 ■セキュリティ事業 ■ソリューション事業
資 本 金	9 億 1,690 万円
法 人 番 号	7011001037734

【GMOインターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMOインターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■仮想通貨事業
資 本 金	50 億円
法 人 番 号	6011001029526

Arm は Arm Limited (またはその子会社) の登録商標です。その他のブランドあるいは製品名は全て、それぞれのホルダーの所有物です。
(C) 1995-2018 Arm Group.

Copyright (C) 2018 GMO GlobalSign K.K. All Rights Reserved.

(別紙)

【GMO グローバルサイン社の IoT への取り組み】

2016年1月29日	インダストリアル・インターネット・コンソーシアム（IIC）に加盟 試験用プラットフォーム設計に参加 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1454029947
2016年3月10日	GMO グローバルサイン社、インフィニオン社、米・ニューハンプシャー大学 協同プロジェクトを開始 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1457582749
2016年4月15日	「グローバルサイン IoT プログラム」を開始 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1460688889
2016年5月24日	GMO グローバルサイン社、セゾン情報システムズ社と IoT 分野で協業 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1464068758
2016年12月20日	GMO インターネットグループの2社と、セゾン情報システムズ ブロックチェーンと IoT を活用した実証実験を実施 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1482196732
2017年1月31日	GMO グローバルサイン社、IoT 分野のリーディングカンパニー・韓国 JCSQUARE（株）と協業 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1485831815
2017年3月17日	ARM 社の「mbed IoT Device Platform パートナー」に https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1489731153
2017年4月27日	IoT デバイス向けのクライアント証明書の大量発行サービス「マネージド PKI for IoT」を提供開始 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1493187350
2017年6月20日	GMO インターネットグループ、セゾン情報システムズ、パルコが共同でブロックチェーンと IoT を活用した実証実験の第二弾を実施 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1497921686
2018年3月16日	GMO クラウド、GMO グローバルサイン、中国 O-film グループの Atte、IoT ボードへ電子証明書を自動配布する共同研究開発を開始 https://jp.globalsign.com/info/detail.php?no=1521187887